

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0131-1106 サービス名称: バスキャッチ 事業者名称: VISH株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2022/4/1
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	VISH株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	2004年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		17年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	愛知県名古屋市中区錦二丁目10番13号 (〒460-0003)
	事業所数(国内、国外)		国内:1ヶ所		
	主な事業所の所在地		愛知県 1ヶ所		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	<ul style="list-style-type: none"> ●クラウドサービス提供事業 「バスキャッチ」等各種クラウドサービスの企画・運営・開発 ●システム開発、技術支援事業 Webシステムの受託開発、技術支援、サイトデザイン制作
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	田淵 浩之
			代表者写真	選択	無
			代表者年齢		47歳
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		名古屋大学卒。VISHにエンジニアとして入社後、バスキャッチサービスの立ち上げに携わり、2021年1月に代表取締役就任。
7	役員	役員数	選択	3名	
		役員氏名及び役職名		田淵 浩之(代表取締役)、小林 元也(取締役)、岩崎 佐知子(取締役)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	27名
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	343,195,914円(令和3年8月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	105,487,219円(令和3年8月期)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	11,500,000円
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	69.1%(令和3年8月期)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	非公開
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	非公開
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	未上場

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0131-1106 サービス名称: バスキャッチ 事業者名称: VISH株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	選択	③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ
17		決算公告	選択	
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成	選択	株式会社SHIFT 100%
19	取引関係	大口取引先	選択	株式会社ルネサンス 株式会社東急スポーツオアシス
20		主要取引金融機関	選択	三菱UFJ銀行
21		所属団体	選択	
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	選択	代表取締役 田淵浩之
23		専担の部署・会議体	選択	部署:総務部 会議:無し
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	必須○	個人情報保護方針 個人情報保護基本規程 個人情報保護管理者マニュアル
				有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	選択	無し
				無し
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	必須	顧客相談窓口対応フロー(苦情・相談) 顧客対応履歴表	
			有り	
- サービス基本特性				
27		サービス名称	必須	バスキャッチ
28		サービス開始時期	必須	2006/6/1
				・自宅送迎型バスキャッチのサービス公開 2008年7月7日 ・幼稚園・保育園型バスキャッチのサービス公開 2011年1月4日
29		サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0131-1106 サービス名称: バスキャッチ 事業者名称: VISH株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービス内容	サービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	「送迎バスをもっと便利に、もっと身近に」という運行管理の現場の声からバスキャッチサービスは誕生しました。GPS車載端末を利用したバスロケーション(車両位置情報管理)ASPサービスとして、高い精度の車両接近情報や配車システムやメール配信機能など豊富な機能で、多くのお客様からのご支持と高い評価をいただいています。
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>		有り ①スマートエデュケーション社が運営する写真・動画配信機能「おうちえん」サービスへ、管理者および保護者がシームレスにログインができる連携 ②株式会社ワイイーシーソリューションズが運営する検温システム「らくらく検温」の記録データが弊社検温メニューに自動で連携
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	個別カスタマイズは基本的に無し
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	本サービスを廃止する場合には、3ヶ月前までに通知します
		告知方法		電子メール、管理ウェブサイト
33	サービスの変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	無し
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無し
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		無し: サービス終了後一定期間保持した後サーバより削除します
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有り: 圏支援システムお客様サポート 平日 10:00~12:00、13:00~18:00 その他の問い合わせは代表電話にて10:00~18:00で受付
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	なし
		固定部分の課金方法		初期費用+月額費用
36	サービス料金	初期費用額	必須	バス1台につきGPS機器購入費用 30,000円 その他、契約内容によって異なります。
		月額利用額		ASP利用料9,000円、バス1台につき通信費3,000円 その他、契約内容によって異なります。
		最低利用契約期間		1年
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有り: 1年に満たない場合は、未経過期間の利用料金全額を一括して精算
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り: 2ヶ月前
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	99.87% (対象期間は2020年4月1日~2021年3月31日)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン6 95%以上
		サービス停止の事故歴		・7件 (対象期間は2020年4月1日~2021年3月31日)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0131-1106 サービス名称: バスキャッチ 事業者名称: VISH株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	監視プログラムによりサービスの稼働状況を監視 異常時には、メールにて通知
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)	選択	監視プログラムによる応答時間 30秒毎にレスポンスの測定 5秒以内のレスポンス不通が3回以上連続した場合に異常検知
	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	WEB、DBサーバは複数台構成。負荷状況に応じて台数を増やす。
	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	プライバシーマークを取得
	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	Webサイト上にて個人情報保護方針を記載
	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	WEBサーバー
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)	選択	毎日 該当ファイルを削除
	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	1日単位でバックアップ
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	30世代
	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	無し
受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	無し	
SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付される	
サービス利用量	利用者数	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数(同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	利用施設の数: 2,179施設 エンドユーザ数: 2,363,894人(実ユーザ数)
	代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	2社
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	主要ソフトウェアの名称	必須	バスキャッチシステム
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	○WEB管理画面: バスの運行状況確認やお知らせメール配信など、日常業務のほとんどはWEBの管理画面で操作できます ○地図アプリ: 利用者様の登録住所にて地図上から最適なコースを割り出し、送迎ルートや時刻表を作成。分かりやすい指示書や時刻表の帳票出力もできます ○携帯サイト・到着案内メール: 携帯にて現在のバスの位置の案内や、地図による位置状況を確認できます。バス到着前にお知らせメールが届きます
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	VISH株式会社(申請者に同じ)
53	連携・拡張性	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	Google Maps SDK
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否	選択	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0131-1106 サービス名称: バスキャッチ 事業者名称: VISH株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	30秒~120秒毎に確認
			障害時の利用者への通知時間		サービス提供に掛かる障害時: 60分
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り
56		時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTP
57		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	ウイルスチェック: 有り (ウェブサーバ上のすべてのファイルに対してリアルタイムチェック) パターンファイルの更新期間: 1日単位
58		記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	ログ記録あり 利用状況、例外処理、セキュリティ事象に関する記録 保存期間は、1年
59	セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	24時間以内に適用	
- ネットワーク					
60	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者間のユーザ接続回線に関しては責任を負わない
61		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	推奨の帯域は無し
62		推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	Microsoft(R) Windows(R) 10
			利用するブラウザの種類	必須	Google Chrome 最新版
63		ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有り
64		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	無し
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	通知しない
66	ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有り	
67	ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	ユーザID、パスワード認証による管理	
68	管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	有り	
69	なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	有り、SSL通信	
70	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	特になし	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0131-1106 サービス名称: バスキャッチ 事業者名称: VISH株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- ハウジング(サーバ設置場所)					
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	データセンター専用建物
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例: 関東、東北))	必須	日本(東京リージョン)
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須	Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
	免震構造や制震構造の有無		Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。		
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須	有り 電力供給時間は、Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須	有り 給電ルートは、Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須	有り 連続稼働時間は、Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須	有り 充水型、二重連結予作動式、またはガス式スプリンクラーシステム
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須	有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須	Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須	Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択	有り 空調設備の内容Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
82	セキュリティ	入退館管理等	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	必須	有り 保存期間は、Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
			監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		有り 稼働時間、監視範囲、保存期間は、Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
			個人認証システムの有無		有り
83	媒体の保管	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
			保管管理手順書の有無		Amazon社のAmazonWebService(AWS)を利用しており、当該に関する情報が非公開のため、内容を特定することができません。
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)		選択	有り 電気、機械、ライフポートシステムおよび設備の監視

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0131-1106 サービス名称: バスキャッチ 事業者名称: VISH株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	電話:052-232-2311(代表電話番号) 0120-260-155(圏支援システムサポート) FAX:052-232-2310 info@buscatch.com
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	圏支援システムお客様サポート 平日 10:00~12:00、13:00~18:00 その他の問い合わせは代表電話にて10:00~18:00で受付
		メンテナンス実施時間		サービス窓口はメンテナンス無し
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)	選択	記録なし
		放棄率の実績値(単位:%)		記録なし
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		記録なし
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		記録なし
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	サービスの利用方法、操作方法、障害などトラブル対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール
89	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	複数台サーバによる冗長化、負荷分散対応
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	無し
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期(1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	1ヶ月前までに通知
		告知方法		電子メール、管理ウェブサイトにて通知
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有り
93	定期報告	利用者への定期報告の有無(アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。